

『しつけない道徳』

(尾木直樹、主婦と生活社、2016.9.)

尾木ママで有名な著者が、社会の中で人として生きていくためのしつけについて説明しています。道徳は、現代社会に生きる一人一人の生き方の根底に息づいている、魂そのものと述べています。

◆子どもたちにとって目の前の大人の生き方こそ、道徳の生きた教科書であり題材であることを、私たち大人が忘れないこと

◆家庭の中で、子どもの道徳心を育もうとする時に、まず大切なのは「しつける」という考えを捨てること。頭ごなしに叱りつけるのではなく、子どもに具体的な方向性や方法を言葉で示す。さらに実際に子どもに練習させてみる。

「こっちのほうがいいんじゃないかな？」

「ママと一緒にこうやってみようか」

「どうしたら良かったと思う？」

この3つのステップを焦らずに踏んでいけば、いつの間にか叱らないで子育てできるようになっているはず。

◆基本的自己肯定感が豊かな子に育てるには、家庭の中で、毎日の生活の中でママ、パパがわが子を丸ごと受けとめて、「キミはとても大切なんだ」と全身で愛を伝える。これしかない。

◆自分の考えをキチンと話させて、さらに自分の考えを受けとめ認めてもらえる場所がある。話を聞いてくれる家族がいるということは、子どもの安心と、そして自信につながっていく。